

# 錯体ナノコロイド水溶液 持続性効果について

錯体ナノコロイド水溶液は、  
国土交通省鉄道局実施の抗ウイルス効果の持続実験において  
1年以上の持続効果があることが実証されています。

- 実証実験 国土交通省鉄道局総務課危機管理室  
「平成26年度安全・安心な輸送サービスの提供に関する調査」  
<実施検査機関：株式会社NTTデータ経営研究所>
- 検査項目 抗ウイルス効果の持続期間（\*抗ウイルス効果以外も実証実験を行っていますが省略いたします。）
- 検査期間 2015年2月7日～2016年2月6日
- 検査方法 ISO18184（国際標準規格）準用  
横浜市営地下鉄ブルーラインの1編成において、列車の換気口付近に  
薬剤加工布を貼り付け、貼り付け直後・1ヶ月後・3ヶ月後・6ヶ月後・  
12ヶ月後と経時的に抗ウイルス活性の推移を検査。
- 試験素材 錯体ナノコロイド水溶液（\*その他製品素材も実証実験を行っていますが省略いたします。）
- 素材選定理由 他社製品に対する顕著な技術優位性・北里環境科学センターでの試験  
実績（\*錯体ナノコロイド水溶液 選定理由）
- 検査結果 貼り付け直後 抗ウイルス活性値**3.5**≧  
12ヶ月後 抗ウイルス活性値**4.3**≧

抗ウイルス活性経時変化試験					
ISO18184	開始時	1ヶ月後	3ヶ月後	6ヶ月後	12ヶ月後
加工なし	0.2	0.3	0.5	0.3	0.3
錯体ナノコロイド	<b>3.5以上</b>	3.6	4.3以上	4.5以上	<b>4.3以上</b>

綿布に薬剤加工を施し、地下鉄列車の換気口付近に貼り付け経時的に抗ウイルス活性の推移をみた。

\*抗ウイルス活性値は [NTTデータ経営研究所] 実証実験報告書より引用

検査方法 ISO18184（国際標準規格）では、  
抗ウイルス活性値が3.0以上で十分な効果を示すと定められています。

上記結果により、  
抗ウイルス活性について開始時からの経時的劣化は認められず、  
**1年以上の持続効果**が実証されています。